

平成 27 年度

細菌検査精度管理クロスチェック参加説明書

一般社団法人 神戸食品微生物科学協会
精度管理委員会（旧クロスチェック班）

この度は、平成 27 年度細菌検査精度管理クロスチェックにご参加いただき、ありがとうございます。
本書はクロスチェック参加に際しての手順や注意事項をまとめたものです。
必ず配布試料開梱前に一読していただきますよう、お願い申し上げます。

【注意事項】

- (1) 技能評価証（個人別の評価）の申込者は、一般生菌数の細菌検査を3回繰返し、行って下さい
（3回行わなかった場合、技能評価証の発行は出来ません）
- (2) 提出期限は厳守でお願いします。
平成 28 年 2 月 5 日（金）必着
- (3) 配布試料の再送付はできませんので、取扱いには十分注意して下さい。
（試料がフタに付着するおそれがあります）
- (4) 配布試料が到着した当日中に検査を開始して下さい。

サンプル到着予定日：平成 28 年 1 月 26 日発送、1 月 27 日着予定
（沖縄、九州、北海道は 1 月 28 日着予定）

問合せ先：イカリ消毒(株)小谷 (kotani@ikari.co.jp)

結果発表：平成 28 年 3 月 11 日（金）

【目次】

- (1) 配布試料の開梱手順及び温度計測のお願い（2 頁）
- (2) 検査実施にあたって（3～4 頁）
- (3) メールによる結果報告（5～7 頁）

(1) 配布試料の開梱手順及び温度計測のお願い

【開梱手順】

配布試料は、発砲スチロール製容器に入れた状態で届きます。【写真1】

配布試料は、チャック付ポリ袋に緩衝材で覆った試料瓶（プラ製）と保冷剤が入っています。

手順1. 配布試料が到着した日と時刻を記録する。

手順2. 発砲スチロール製容器のふたを開ける。【写真2】

手順3. チャック付ポリ袋を破かないよう、詰め物を取り除く。【写真3】

手順4. チャック付ポリ袋の封を少し開け、そこから温度計を差し込み、チャック付ポリ袋内の温度を計測し、記録する。【写真4】

なお、保冷剤に接触しないように気をつけること。

手順5. 成績書に①配布試料が到着した日と時刻、②手順3で計測したチャック付ポリ袋内の温度を記載する。

手順6. 検査開始前まで冷蔵庫に保管する（冷凍厳禁！！）



【写真1】



【写真2】



【写真3】



【写真4】

(2) 検査実施にあたって

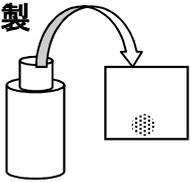
* 今年度の配布試料の注意事項

以下の事項は検査結果や評価に影響を及ぼすおそれがあるため、必ず読んでおいてください。

- 1) 配布試料の再送付は出来ません。
- 2) 配布試料は40 g 程度
- 3) 配布試料の取扱いに十分注意！！（試料がフタに付着しているおそれあり）
- 4) 原則として受け取った当日に検査を開始！！

検査の実施(例) * 各社日常の検査方法で行ってください。

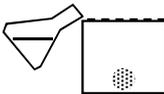
サンプル調製



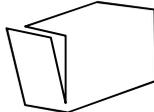
*以下、所定の細菌検査の注意事項を守る。

① 配布試料40 g の入った容器から10gを無菌的に採取し、ストッカー袋に入れる。

滅菌希釈水



② 10倍希釈になるように、滅菌希釈水を入れる。



③ ストマッカー(マステイクーター)にかける。

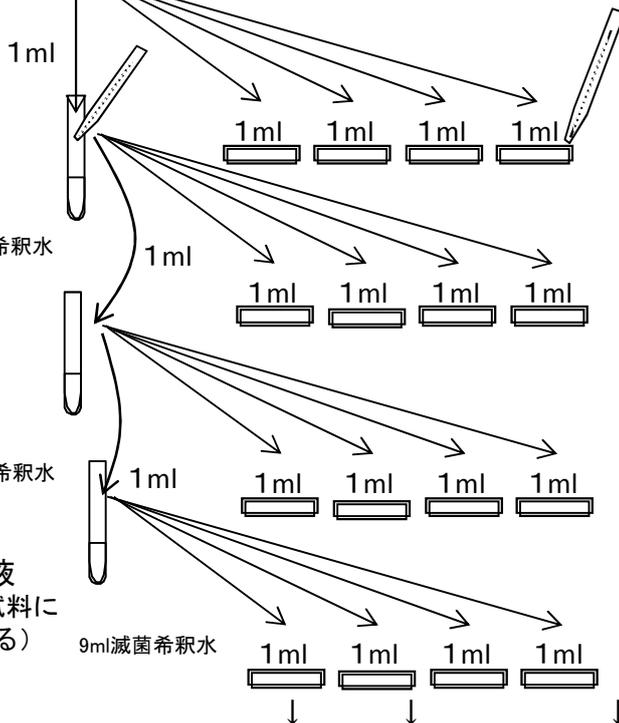
植え付け

1/10液

以下、標準的な方法

混釈法
一般生菌数用

混釈法
大腸菌群数用



- ④ ピペット系列で希釈する
- ⑤ 滅菌シャーレに滴下する
- ⑥ よく混釈する

今回は、配布試料中の菌数が 1.0×10^7 cfu/g を想定して検査を実施して下さい。

培養

*各社使用の培地、試験方法で実施する。

培養 35～37℃



カウント

「一般生菌数」の注意事項

- ・上位者の確認をお願いします。
- ・過去に計算間違い、記載ミスなどが疑われる場合が散見されますので、結果を提出する際は、十分ご注意ください。

「大腸菌群」の注意事項

- ・寒天培地による検査を行った場合、検出されたコロニーの大きさ、色が明らかに違う場合は、それごとに分けてカウントすることを推奨します。
 - デソ培地の場合：コロニーの大きさ（大小）
 - 酵素基質の場合：コロニーの色（青色、赤紫色など）
- ・検出されたコロニーについて、“陰性” 或いは“陽性” の判定も実施して下さい。

報告

- ・クロスチェックの結果表の記載方法、帳票は、以下のホームページにて確認をお願いします。

一般社団法人 神戸食品微生物科学協会

<http://www.kobe-biseibutsu.or.jp/>

(3) メールによる結果報告

注意事項

- クロスチェック結果表の様式は変えないで下さい。
- 配布帳票は Excel ソフト、1 シートにつき細菌検査 1 回分で、
3 シート分用意しています。
- 帳票の見本、帳票は、(一社) 神戸食品微生物科学協会のホームページでお願いします。

<http://www.kobe-biseibutsu.or.jp/>
- 提出は、平成 28 年 2 月 5 日厳守でお願いします

細菌検査終了後、以下の手順で（一社）神戸食品微生物科学協会にメール送付をお願いします。

手順1. 細菌検査結果の記載

- (1) 一般生菌数、大腸菌群の帳票の色付けした欄に記入をお願いします。（記入例は、（一社）神戸食品微生物科学協会ホームページ参照）
- (2) 一般生菌数および大腸菌群の検査を3回繰り返し行った場合、或いは1つのサンプルで3人行った場合は、一般生菌数或いは大腸菌群（1）～（3）のシートに結果を記入して下さい。

担当者	会社名	各社No.	対数値	結果(実数値)	梱包内温度
沢渡	▲@マーク㈱		7.176	1.5E+07	12.8
沢川	▲@マーク㈱		6.398	2.5E+06	8.5
沢田	▲@マーク㈱		6.699	5.0E+06	9

- (3) ファイル保存する際に、ファイル名は [会社名+検査項目]（以下の画像参照）をつけて保存して下さい。



- (4) 上位者に結果および記載の確認（記入漏れ、記入ミス、計算ミスなど）をお願いします。

手順2. 総合評価の記載

一般生菌数および大腸菌群の全ての菌数をもとに、1施設に対する結果を「配布試料の総合評価」の帳票に記載して下さい。（1施設につき一般生菌数、大腸菌群を1つ記載）

*** 配布試料2個以上の施設においても、菌数の結果は1つで結構です。**

手順3. 配布サンプルおよび結果報告書に関するアンケートの記載

今回のクロスチェックに関するアンケートに記載をお願いします。

(1施設に対して1回答)

手順4. メール送信前の事前確認

以下の事項を確認して下さい。

- ① 社名、検査者は記載していますか？
- ② 菌数算定における計算間違い、記入漏れがありませんか？
- ③ 上位者の結果確認を行いましたか？

手順5. (一社) 神戸食品微生物科学協会へのメール送信

- (1) 宛先の欄に “info@kobe-biseibutsu.or.jp” を入力してください。
- (2) 件名の欄に “クロスチェック結果(会社の名称)” を入力してください。
- (3) メール文面の欄に、①会社名、②事業所或いは工場名、③添付ファイル数を入力してください。
- (4) [メール送信見本] を参考に添付。なお容量が大きい場合は、データを分けて送信をお願いします。

[メール送信見本]

クラブボード	フォント	段落	リッチテキスト(F)
	宛先: <input type="text" value="神戸食品微生物科学協会;"/>		
	件名: <input type="text" value="クロスチェック結果(イカリ消毒株式会社)"/>		
	<input type="checkbox"/>  小谷(DX).xls (106 KB)		
	<input type="checkbox"/>  小谷(SPC).xls (86.2 KB)		

一般社団法人神戸食品微生物科学協会
精度管理委員会 様

- ① イカリ消毒株式会社
- ② なし
- ③ 添付ファイル数:5個

よろしく申し上げます

イカリ消毒株式会社
経営企画室 小谷敏子
kotani@ikari.co.jp
